

会宝お客様通信

笑顔こぼれる みんなのミニ情報誌



4 月号

ほほえみ

Hohoemi

ぽすと

Post



会宝農園

こんにちは。近藤です。

さて、皆さんは日本の食料自給率をご存知ですか？カロリーベースでなんと 39%だそうです（平成 18 年）。つまりは 3 分の 2 近くを外国に頼っていることになるのです。私たちの回りには食べ物が溢れていますが、もし、何かの事情で輸入がストップすれば、たちどころに食料危機がやってきます。しかもほとんどの人が食料の輸入に健康上の不安を抱えることと思います。食べるのに精一杯というのは昔のことと思われるかもしれませんが、近い将来、本当に食糧不足がやって来るかもしれません。一方で日本の農業は事業として成り立っておらず、いびつな構造となっているように思えます。

そうしたことから農業に関心を持ち、当社の本業である自動車リサイクル業と農業を一体化した複合施設を検討するようになりました。そんな中で、宝達志水町から、町の遊休農地を利用して私が描くプロジェクトを実施してみませんか、とのお誘いをいただきました。

当社から排出される廃油をこの農地の発電や給湯、温室栽培に使い、収穫された食物は会宝産業が販売のお手伝いをします。社員の家族、お取引先やその関係者、はたまた海外とのネットワークを使ったりして、安全で安心できる食料をお届けする。

さらに、この農地で生産した野菜と近くの日本海の新鮮な海の幸でおいしい料理を提供するレストラン、学生たちと提携した食育事業の展開、リタイヤされた方々や興味ある人たちへのレンタル農場、当地ならではのブランド農作物の育成、食をテーマとしたイベントの開催などなど、アイデアはどんどんと広がっていきます。



こうした自然に恵まれた場所で、当社のリサイクル工場から発生した廃油をエネルギー源として、循環型の施設を運営し、地域の活性化を図ることが社会への貢献につながるの思いから出てきた発想ですが、私にはもう具体的なイメージが浮かんでいますので、実現できると信じています。

こうした自然に恵まれた場所で、当社のリサイクル工場から発生した廃油をエネルギー源として、循環型の施設を運営し、地域の活性化を図ることが社会への貢献につながるの思いから出てきた発想ですが、私にはもう具体的なイメージが浮かんでいますので、実現できると信じています。

この農業プロジェクト、もし、ご興味ある方がいらっしゃいましたら、一緒にやってみませんか？ ご協力をお願いします。

車輛課からの お得な耳より情報



屋根のお手入れ

そろそろ築5年になります。屋根のお手入れはいつ頃、どのようにすればいいのでしょうか？

屋根の塗装の寿命は一般的に7年ぐらいと言われていますが、色あせしてきたりサビやコケが付着し始めたら屋根自体がもろくなってきています。そのまま放置しておくとも屋根材が浮いたりゆがみが生じてきたりして、最終的に塗装では手におえず、葺(ふ)き替えが必要になることがあります。

また、壁や天井にシミがある場合は雨漏りの可能性があります。屋根以外の、例えば外壁などに問題があること

もあるので早めに専門家に診断してもらいましょう。

屋根のお手入れには、汚れを高圧洗浄したあとで塗料を塗る「塗装」、屋根材をはずして下地を入れ、新しく屋根材を置く「葺き替え」、今ある屋根の上に新たに屋根を葺く「カバー工法」があります。カバー工法は葺き替えよりも短工期・低コストで断熱効果も高まります。



08年2月の車両処理実績			
フロンガス	破壊	Kg	224
	再利用	Kg	
エアバッグ	個		250
廃オイル	リットル		6,550
LLC	リットル		2,200
入庫台数	一般	台	957
	投棄	台	
処理台数	台		851
廃車ガラ量	トン		448

▶ 今月のクレーム



今月は松崎よりラジエーターのクレームをご案内します。

通常、ラジエーターをご注文頂く際には、コアに問題(フィン折れ・変形)がないか、走行距離は何万キロかの確認がよくあります。今回も確認した上で手配致しましたが、届いてみるとプラスチックタンクが劣化していたようで、ちょっとしたことで取付時に破損してしまい、大変ご迷惑をおかけしま

ラジエーター

した。

このように見落としやすい部分が破損すると、せっかくの部品が使えなくなりますので、今後は手配する際、細かい所に注意して注文するよう心がけます。

ちなみに当社ではラジエーターを登録する場合、必ずゴムホースを取り除いて劣化の確認・固着防止を徹底しておりますので安心してご利用下さい。

会宝産業株式会社 金沢市東蚊爪町1-25

部品課TEL 076-237-5138

FAX 076-237-6090

E-mail kokunai@kaiho.co.jp

車輛課TEL 076-237-5133

FAX 076-237-1950

E-mail info@kaiho.co.jp

営業時間/8:30-18:30 日・祝日休業

<http://www.kaiho.co.jp>



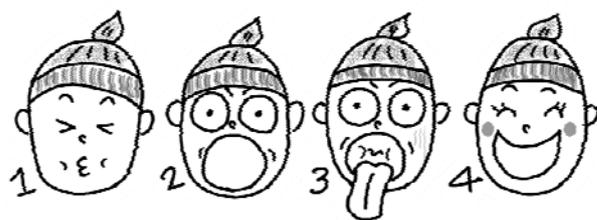
素敵な笑顔で印象アップ

顔の表情を作る「表情筋」という筋肉は30種類ほどあり、複雑に関連し合っています。ところが、これらのうち実際に使われているのはわずか2~3割程度。その他の使われない筋肉は放っておくとどんどん固くなって縮んでしまいます。筋肉が固くなると表情が乏しくなったり笑顔がこぼれたりするだけでなく、シワやたるみの原因になり、毛細血管の血行を阻害してくすみや乾燥を引き起こしたりもします。

普段使っていない表情筋を意識的に動かして、表情をやわらかくしてみましょう。顔を動かすすぎるとシワができるような気がしますが、短時間なので大丈夫。

逆に筋肉が固くなって縮むほうがシワを招きます。

まず、両目と口を思い切り小さくできるだけ顔の中心に寄せたら、今度は思いっきり大きく開きます。次に目を見開きながら舌をぐっと下に向かって突き出します。最後は、にっこり笑って左右の口角を引き上げましょう。これを毎日、数回繰り返します。ほら、いい笑顔になりましたね！



こんなとき どーする!?

年中行事から

冠婚葬祭
まで

～お花見の始まり～ 昔は「梅」を愛でていた!

古来、桜は「さ=田の神」「くら=神の宿る場所」のことで、稲の神の宿る木だという説があります。また、「咲く」を語源としているという説もあります。春といえば桜というぐらい、桜は日本人にとって特別な花ですね。

その桜を眺めて楽しむことを「お花見」と言いますが、もともとのお花見は「梅」を愛でてたそうです。さかのぼること奈良時代の宮廷に中国からもたらされたお花見は、貴族や武家の風習でした。「桜」を愛でるようになったのは平安時代。嵯峨天皇が初めて桜の花見の宴を開き、それから天皇主催の定例行事となったそうです。その様子は『源氏物語』にも描かれています。その後、室町時代には桜の散りゆく姿と武士のいさぎよさを尊ぶ心が重なり、武

人たちも桜を愛でるようになりました。

お花見が庶民に広まったのは、徳川八代将軍吉宗の時代だそうです。吉宗は郷里・和歌山県の長保寺の見事な桜を懐かしみ、江戸のあちこちに桜を植樹した上に花見客用の飲食店まで作ったのです。人口密度が高くて家が密集していた江戸の町には、それまで人々が憩う公園のような場所が少なかったこともあり、これでお花見の習慣が急激に広がりました。江戸の人々は着飾って、今と同じく花見弁当やお酒を持ち、団子を楽しんだそうです。

ちなみに、お花見の団子は桜色・白色・緑色の三色です。桜色が表すのは春の息吹きを象徴する「桜」。白色は「雪」で冬の名残りを、緑色は「ヨモギ」で夏のきざしをそれぞれ表現しています。

